

## 帯広の森屋内スピードスケート場の施設概要

スピードスケート競技は記録が気象条件に左右されない屋内競技へと変貌し、国際大会のほとんどが屋内リンクで行われる時代です。北海道・帯広市では、これまで数多くのオリンピック選手を輩出してきた「スピードスケートのメッカ」として国内で2番目の屋内リンクを整備します。

### 1 施設の概要

- ・ 構造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
- ・ 階数 地上2階建
- ・ 延床面積 19,218 m<sup>2</sup>
- ・ 建物高さ 19.9 m (内部梁下高さ 11 m)
- ・ 工期 平成19年7月～平成21年7月末

### 2 アリーナの概要

#### [ スケートリンク機能 ]

- ・ 400m標準ダブルトラック (国際連盟規格)
- ・ リンク幅15m (滑走ゾーン8m・アップゾーン5m・事故回避ゾーン2m)
- ・ 冷凍設備：アンモニア冷媒による空冷式冷凍機4台
- ・ リンク面：鋼管理設型方式 (埋設鋼管25A・@80)
- ・ 照明は投光器型照明器具を採用、利用用途に必要な照度を確保 (大会時1,500ルクス)
- ・ もや発生防止を図るため、アリーナ除湿空調機4台設置

#### [ 観客席 ]

- ・ 1階正面に軽量スタンドを設置 (収容人数 1,000人)
- ・ 立見席としてランニング走路 (幅3m) を活用 (収容人数 2,000人)

#### [ 中地多目的広場 ]

- ・ スケートリンク内側にフットサル3面、テニスコート6面を設置 (4,080m<sup>2</sup>)
- ・ 多目的広場外周 (リンク部境) に昇降式防球ネットを設置 (高さ11m)

#### [ ランニング走路 ]

- ・ リンク外周部にランニングコースを設置 (全長470m・幅3m)

#### [ その他 ]

- ・ トレーニング室、選手控室、会議室などを兼備える。

### 3 運営計画

- ・ 開館期間 リンク利用：7月下旬～3月上旬 (中地利用等：通年)
- ・ 利用形態 国際大会、全国大会などのスケート競技  
オリンピックなどに向けた選手の強化・育成  
社会人や大学などによる合宿  
トレーニングや中地活用による住民の健康増進・体力づくり

### 4 開催が想定されている主な大会

- ・ 世界スプリントスピードスケート選手権大会
- ・ 世界スピードスケート選手権大会アジア地区予選
- ・ ワールドカップスピードスケート競技会
- ・ 国民体育大会冬季大会スケート競技会
- ・ 全日本スピードスケート選手権大会
- ・ 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会